

ももたろう基金【第6次助成】 事業実施報告書

実施事業	被災地域における障害児の保護者の居場所づくり（出張うさぎカフェ in 真備）
実施者名	NPO法人ペアレント・サポートすてっぷ
助成金額	350,000円
受益者数	直接受益者 39名（間接受益者 子ども8名）

※イベント実施や複数回実施事業は別紙で各回の人数等、対象者数のわかる資料を添付ください。

<p>実施した事業の内容・成果</p> <p><実施内容></p> <p>●月に2回程度、平日1回・休日1回、真備の施設（障がい者就労支援施設「まびの道」）を会場として、保護者の居場所づくりを行いました。</p> <p>《参加者数》10月23日…4名 11月11日…7名 11月22日…5名 12月4日…3名 12月16日…15名 1月15日…2名 2月5日…5名 2月17日…3名 3月19日…3名 <u>大人・子ども合計47名</u></p> <p><成果></p> <p>障がい者施設の中の作業室（会議室）を貸していただいたのカフェ開催は、長時間滞在しやすい空気とは言えず難しさが多分にあったが、そのような中でも毎回誰かしらが参加してくれ、中にはこのような感想をくださる方もいました。「今年は、本当にお世話になりました。本当に安藤さんはじめ沢山の方に話を聞いて頂いてどれだけ心が救われたか…まだまだいろんな事があるけれど…また話を聞いてもらいながら頑張りたいと思っています」毎回毎回必ず参加して下さる方もおられ、被災による葛藤を毎回のようにお話されています。ネガティブな気持ちであっても吐き出しても良い「安心できる場」として一定の役割は果たしてきたのではないかと思います。</p>

活動の様子（写真などを添付してください）		
 <p>メイクサービスの様子</p>	 <p>カードメイキングの様子</p>	 <p>クリスマス会の様子</p>



決算報告 (※原則として領収書の写しを添付いただきます。)

今回実施した事業の決算内容は下記の通りです。

費目		金額 (円)
収入の部	ももたろう基金助成金	350,000
	法人より	22,504
	収入合計	372,504

費目	算出根拠	金額 (円)
①当プログラム助成金 対象費目 当プログラム助成金 (このプログラムで集めた寄付金) を充てる費目	報償費 講師謝金 (1名×@22,042 1名×@10,000 3名×@8,817 2名×@7,715 2名×@7,714 1名×@3,000) 会場提供御礼品@1,296	93,647
	消耗品費 カフェ材料費59,161円 ランチ材料費45,876円 消耗品173,820円	278,857
小計		372,504
②その他費目 当プログラム助成金 (このプログラムで集めた寄付金) を充てない費目		
	小計	0
支出合計		372,504

寄付者へのメッセージ

今回真備の災害において、多くの障がい児のいる家庭が、非常に困難な状況に置かれました。子どもの状態が平時よりも悪くなる中、保護者は「私が何とかするしかない」とすべてを家庭内で抱え込みがちな状況になりました。しかしそのような状況下において、ももたろう基金によってご支援していただいたことにより、もよもよとした胸の内の気持ちを安心して話せる場づくり、ゆるやかな楽しい企画やマッサージ等のリラクゼーションの提供を実施することができました。

その結果、参加された皆さんから「いつも楽しい企画をありがとうございます」「皆さんが子どもの相手をしてくださったのが嬉しかった」「多くの方にお話を聞いていただいて救われた」等の言葉をいただきました。わずかながらでも被災された障がい児のご家族の方のお役に立てたのかもしれないと嬉しく感じております。ご支援、誠にありがとうございました。

今後の活動

今後も真備の中で、障がい児の保護者のための場づくりを行ってまいります。4月以降は、被災している・していないに関係なく、障がい児の家族や支援者が集える場として、真備の中で様々な企画を実施して行く予定です。いつまでも「被災した人・していない人」と区別することは、かえって被災者をディスエンパワメントすることになりかねないと考え、今後はフラットな関係性を念頭においた「皆さんにお手伝いしてもらいながら自然と交流できるような場づくり」を行っていきます。楽しい企画・興味を持てる企画をたくさん行うことにより、被災地域以外の方にも真備に気軽に足を運んでもらうようにし、それによって薄れがちな被災地への関心を持っていただく機会にもしたいと考えております。